

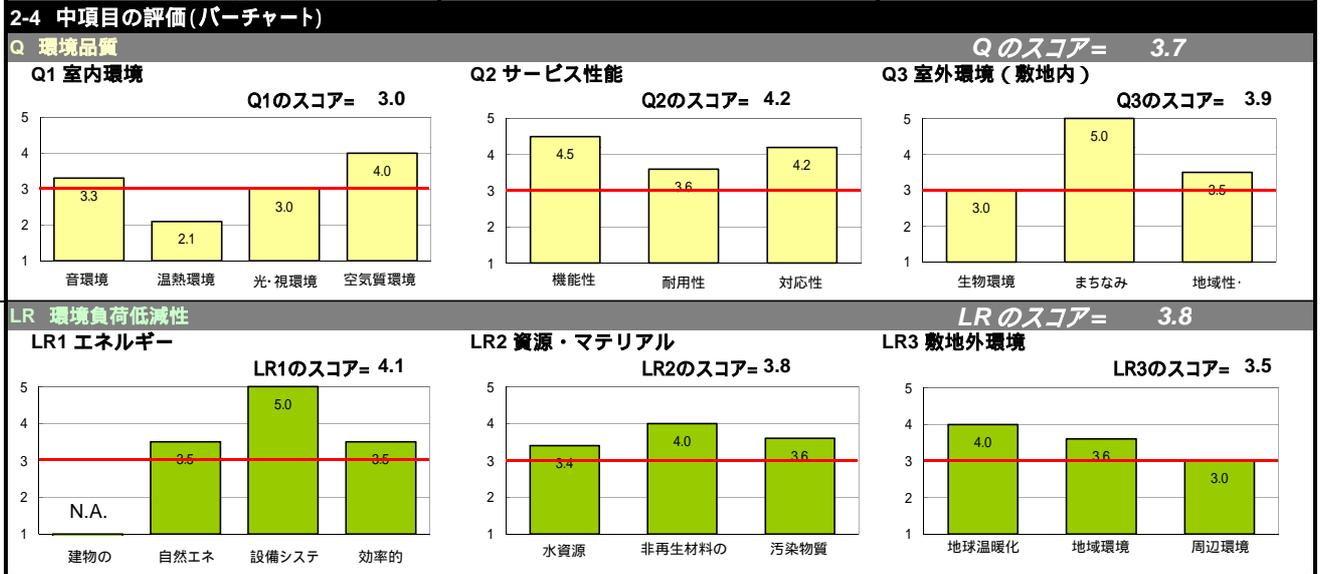
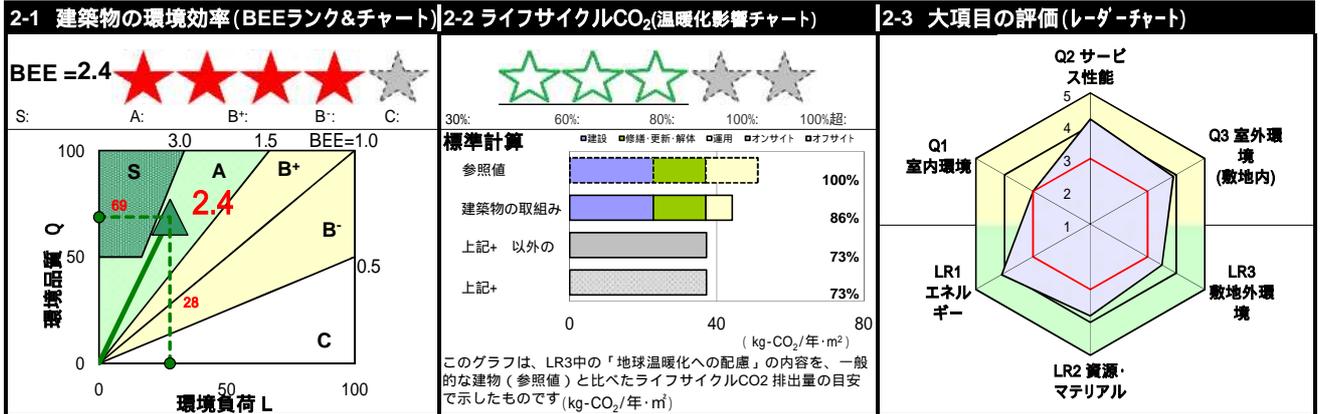
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP座間プロジェクト	階数	地上5F
建設地	座間市広野台二丁目4958番5	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	870人
気候区分		年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 予定	評価の実施日	2014年3月20日
敷地面積	58,908 m ²	作成者	東急建設株式会社
建築面積	27,243 m ²	確認日	2014年3月20日
延床面積	131,707 m ²	確認者	東急建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合 敷地・施設の巨大さを活かし、太陽光発電や敷地内緑化を積極的に取り入れることで、環境に配慮した計画とします。また、風向や方角を考慮し、建物配置・各機能配置を決定することで、室内・室外共に快適な空間とします。		その他 既設建物解体時および新設時に発生する土は、敷地内で処理する計画とします。また、構内道路路床に再生骨材を利用することで廃棄物削減に配慮した計画とします。
Q1 室内環境 敷地・施設の巨大さを活かし、太陽光発電や敷地内緑化を積極的に取り入れることで、環境に配慮した計画とします。また、風向や方角を考慮し、建物配置・各機能配置を決定することで、室内・室外共に快適な空間とします。	Q2 サービス性能 倉庫用途建物である階高を活かし、事務所や食堂といった居室もゆとりのある天高となるよう計画します。また、内装・外装共に低汚染性の仕上を使用することで、維持管理に配慮した計画とします。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地の可能な限りを緑地とし、車路・駐車場をより多く確保しながらも、周辺環境に配慮した緑地計画とします。また、屋外機置場を屋上にまとめることで、地上レベルは緑地や歩行者用通路確保等、敷地を有効的に使用するよう配慮しました。
LR1 エネルギー 広大な屋根面積を活かし、太陽光パネルを設置します。各階倉庫の電気をモニタリングすることで、エネルギーの消費量を把握します。	LR2 資源・マテリアル 部材をPca及びPVS化することで、コンクリート打設の際に必要な型枠等の建材削減を行います。衛生器具等においては省水型機器を使用することで節水を図ります。また、雨水については雨水浸透にて処理します。	LR3 敷地外環境 敷地周辺の風向は南北方向が主となっており、車路を南北方向へ配置することで、風の流れを遮らない建物配置とします。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される